

「青森県健やか力向上企業等連携協定」を青森県と締結

大塚食品株式会社(本社:大阪府中央区、代表取締役社長:白石耕一)は、健康で長生きな青森県を目指し、「健康あおもり21(第2次)」及び「第三期青森県がん対策推進計画」を掲げる青森県と「青森県健やか力向上企業等連携協定」を2020年9月3日に締結しました。

大塚食品は「会社は人にはじまり、食は心にはじまる」をモットーに「美味・安全・安心・健康」を社員全員の“食”の心として、事業をおこない、世界初の市販用レトルト食品『ボンカレー』をはじめとして、斬新なアイデアと確かな品質で人々の健康、生活に貢献する“新しい食”を提案してまいりました。

現在、超高齢社会の到来、健康・環境・人口問題等々社会環境は大きく変化しています。大塚食品はこのような社会変化に伴う課題の解決に向けてお客さまに必要とされる製品を創出・提案し、貢献できる企業を目指し挑戦し続けています。

また大塚食品は、青森県においても「青森市高血圧市民公開講座」に参画するなど、県民の皆さまの健康維持・増進に貢献すべく活動してまいりました。

このたびの「青森県健やか力向上企業等連携協定」締結を機に、さらに青森県との連携および協力を強化して県民の皆さまの健康的な生活習慣づくり、健康寿命延伸の実現に寄与すべく活動をおこなってまいります。

青森県庁で行われた協定書交付式の様子



右 : 奥村 智子 青森県健康福祉部 がん・生活習慣病対策課 課長
左 : 細川 真志郎 大塚食品(株)仙台支店 支店長